

令和元年度策定 画図校区社協行動計画書

基本理念	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取り組み（条件づくり）	行動計画
<p>声 か け て 、 幸 せ 湧 く 和 く 画 図 の ま ち ♪ （愛）</p>	ボラン ティア ・担 い手	若年層のボランティア・担 い手不足 各種団体で養成されたボラン ティアの整理	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア養成後の活動の場がない ・各種団体（自治会・老人会・子ども会・婦人部等）加入者の減少 ・各種団体における役員のなり手不足 ・自治会への未加入世帯 ・近隣住民の関係が希薄化 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内役員の世代交代（若い世代の自治会活動への参画） ・次世代を担う世代が参加できるような行事の周知（情報提供） ・近隣住民の支え合い（お互いが出来ることを出来るだけ） ・自治会の全員加入を目指す（加入率の向上促進） 	
	高 齢 者	高齢者問題（独居、認知症の 増加、孤独死、虐待）の支援 体制 健康、介護予防	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に対する理解不足（若い人の理解が必要） ・他者との関りを拒む人がいる（老人会に入らない等） ・個人情報の問題・情報の共有が難しい ・支援する側の高齢化 ・公営団地等の老朽化（50年以上） ・8050問題 ・買い物、重いごみ出しの問題 ・自助・共助の活動にあたり自身の健康維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易な集いの場づくり（庭先等に集まり話が出来ることが必要） ・散歩しながら声かけ（見守り）、パトロールを心掛ける ・校区社協で隣保班を活用した見守りチームを作る ・高齢者、またその家族とのコミュニケーションの機会を増やす ・買い物、電球交換など出来ることを支援 ・校区社協主催のふれあい・いきいきサロン及び介護予教室の継続 ・関係機関が開催するオレンジカフェへの協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの登録整理と活用（コーディネート） ・近隣住民、隣保班での見守り活動 ・ふれあい・いきいきサロンの継続・充実 ・介護事業所との連携
	障 が い 者	障がい者への支援体制、相談 先が分からない	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいの種別の把握が難しく、どう支援してよいか分からない ・地域での支援には限界がある ・個人情報の問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供ができる仕組み作り ・当事者や家族とのコミュニケーションの機会を増やす ・障がい者相談支援センターの出張相談・出前講座の開催（障がい者について、理解を深める機会の場の提供） 	<ul style="list-style-type: none"> ・他団体事業への相互支援 ・災害時要援護者避難支援制度への登録 勧奨、個人避難支援者への協力依頼
	災 害 ・防 災	防災・日頃の備え・避難支援 と体制（防災と福祉は密接）	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の支援、高齢者・障がい者等の避難支援体制が不十分 ・避難所が分からない、遠い ・水害発生時は避難先となる高い建物がない ・個人情報の問題がある ・災害時要援護者避難支援プランの約8割に個人支援者がいない 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の協力体制の構築 ・町内毎のハザードマップの作成 ・関係機関に協力してもらいSNSを活用する ・町内での防災訓練実施（高齢者、障がい者等の災害時要援護者の参加呼びかけ） ・水害時の予測、推移と避難経路の周知 ・子ども達に人命救助等防災訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本市社会福祉協議会自主避難サポ ート（旧 高齢者SOSサービス）事業実施 ・障がい者相談支援機関との連携及び研 修会の企画、開催 ・命のバトンの整備
	子 ど も ・ 世 代 間 交 流	子育て世帯の繋がりの希薄化 世代間交流が十分でない	<ul style="list-style-type: none"> ・町内によっては、地域の子どもの把握ができない ・子育て世代は共働きで多忙のため、親にも時間、心身の余裕がない ・子育て世代の貧困問題 ・登下校時の安全確保 ・他者との交流を拒む人もいる（子ども会・自治会に入らない） ・個人情報の問題（情報共有が難しい） ・子ども神輿は30年続いているが参加人数が減少している 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子や高齢者と子どもがふれあうイベントの企画・実施 ・昔遊び（しめ縄・竹とんぼ）で高齢者との交流を図る ・関係機関協力のもと子ども食堂の企画、実施 ・挨拶・声かけの取り組み ・下校時の声かけ、パトロール ・世代間交流の中から担い手発掘 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアヘルパーの活用